禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B81

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 塗装 学科試験問題
(建築塗装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　塗装の目的の一つには、被塗物を熱や光線から守ることがある。

2　エアレススプレー塗装は、一般に、エアスプレー塗装よりも高い粘度の塗料を吹き付けることができる。

3　色ののぼりとは、調色した塗料の塗装において、乾燥するにしたがい塗装の色味が薄くなることをいう。

4　アクリルラッカーの乾燥機構は、重合乾燥である。

5　塗装における隠ぺい率とは、塗膜が下地の色の差を覆い隠す度合いをいう。

6　チョーキング(白亜化)とは、塗膜が劣化して塗膜表面が粉化する現象をいう。

7　塗り分けのためにマスキングテープを貼る塗装面は、指触乾燥の状態になっていればよい。

8　エアスプレーガンでは、塗料の噴出量に対する空気量が同じであれば、塗料の粘度が高くなるほど、霧(噴霧粒子)は細かくなる。

9　変性エポキシ樹脂プライマーは、一般に、ステンレス鋼板の下塗りに適さない。

10　溶剤の引火点とは、溶剤に点火源を近づけなくても溶剤が発火する最低温度をいう。

11　日本産業規格(JIS)によれば、研磨布紙用研磨材の粒度において、P280は、P120よりも粒子が粗い。

12　明るい灰色は、有彩色である。

13　マンセル記号 5R 6/4において、5Rは色相を表す。

14　日本産業規格(JIS)によれば、色彩調節とは、色彩の生理的・心理的作用を利用して、疲労低減、能率向上、災害防止を目的として、適切な色を選んで用いることをいう。

15　消防法関係法令によれば、引火性液体は、危険物第一類に区分されている。

16　有機溶剤の蒸気は、一般に、空気よりも重いので、床面及び床面に近い場所にたまりやすい。

17　亜鉛めっき鋼材に塗装する場合は、密着用の下地処理を行わないと、塗膜の剥離(はくり)を起こしやすい。

［A群（真偽法）］

18　ポリウレタン樹脂塗料のうすめ液には、専用シンナーを用いる。

19　屋外壁面塗装における壁面の穴うめには、合成樹脂エマルションパテの一般形が最も適している。

20　目止め剤は、木部の導管や切断面の穴に充填して素地に平滑性を出すために用いられる。

21　公共建築工事標準仕様書によれば、木部の素地ごしらえにおける研磨紙ずりには、粒度P60～80の研磨紙を使用することとされている。

22　公共建築改修工事標準仕様書によれば、鉄鋼面の下地調整の種別は、特記がなければ、RA種とすることとされている。

23　長毛のローラーブラシは、主に、鉄板やモルタル壁などの平滑な塗装面を綺麗に仕上げるときに使用される。

24　細かい箇所や小物などをエアスプレー塗装する場合には、一般に、スプレーパターンを丸吹きに近いパターンに調整して塗装するとよい。

25　真壁造は、柱が室内にあらわれるが、大壁造は、柱が室内にはあらわれない。

［B群（多肢択一法）］

1　被塗物を金属やゴムのローラーの間を通過させて塗る塗装法はどれか。
　イ　ロールコーター塗装
　ロ　浸漬塗り
　ハ　静電塗装
　ニ　カーテンフロー塗装

2　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　調色において、最終の色の確認は、塗料が(　　)において行う。
　イ　塗装された直後
　ロ　指触乾燥した状態
　ハ　半硬化乾燥した状態
　ニ　硬化乾燥した状態

3　酸化重合反応によって硬化する塗料はどれか。
　イ　塩化ビニル樹脂塗料
　ロ　アクリル樹脂エマルション塗料
　ハ　2液形ポリウレタン樹脂塗料
　ニ　合成樹脂調合ペイント

4　塗膜の機械的性質を評価する試験方法のうち、塗膜の耐屈曲性を評価するものはどれか。
　イ　荷重針法
　ロ　研磨紙法
　ハ　鉛筆法
　ニ　円筒形マンドレル法

5　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　日本産業規格(JIS)によれば、(　　)とは、塗料を塗った後、塗料が流動して、平らで滑らかな塗膜ができる性質をいう。
　イ　レベリング
　ロ　ブロンジング
　ハ　リフティング
　ニ　ブロッキング

6　次のうち、塗装作業で使用する養生用品でないものはどれか。
　イ　マスキングテープ
　ロ　ジョイントテープ
　ハ　ビニルシート
　ニ　飛散防止用ネット

［B群（多肢択一法）］

7　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

エアレススプレーガンでは、塗料噴出量やパターン幅は、一般に、(　　)によって調整する。

イ　引き金の引き代
ロ　塗料圧力
ハ　ノズルチップの選択
ニ　吹付け面との距離

8　一般に、上塗り塗料として使用しないものはどれか。

イ　有機ジンクリッチペイント
ロ　長油性フタル酸樹脂塗料
ハ　ポリウレタン樹脂塗料
ニ　ふっ素樹脂塗料

9　次のうち、合成樹脂調合ペイントに使用されるうすめ液(シンナー)はどれか。

イ　ラッカーシンナー
ロ　ミネラルスピリット
ハ　エポキシシンナー
ニ　アクリルシンナー

10　日本産業規格(JIS)によれば、黒色炭化けい素研削研磨材を表す記号はどれか。

イ　A
ロ　C
ハ　GC
ニ　WA

11　次のうち、寒色はどれか。

イ　赤
ロ　黄
ハ　赤紫
ニ　青

12　日本産業規格(JIS)によれば、マンセル表色系の三属性に含まれるものはどれか。

イ　彩度
ロ　濃度
ハ　照度
ニ　輝度

［B群（多肢択一法）］

13　日本産業規格(JIS)によれば、安全色において、黄が表す意味でないものはどれか。
イ　注意警告
ロ　明示
ハ　注意
ニ　防火

14　消防法関係法令によれば、アルコール類の指定数量として、正しいものはどれか。
イ　50リットル
ロ　200リットル
ハ　400リットル
ニ　1000リットル

15　労働安全衛生法関係法令によれば、第二種有機溶剤等の区分を表す色はどれか。
イ　青
ロ　赤
ハ　黄
ニ　緑

16　次のうち、広葉樹はどれか。
イ　ヒノキ
ロ　スギ
ハ　ナラ
ニ　マツ

17　反応硬化形塗料でないものはどれか。
イ　ふっ素樹脂塗料
ロ　シリコン系樹脂塗料
ハ　エポキシ樹脂塗料
ニ　アクリルラッカー

18　木部のクリヤラッカー塗りの工程の順序として、適切なものはどれか。
イ　サンジングシーラー塗り →ウッドシーラー塗り →クリヤラッカー塗り
ロ　ウッドシーラー塗り →サンジングシーラー塗り →クリヤラッカー塗り
ハ　サンジングシーラー塗り →クリヤラッカー塗り →着色
ニ　ウッドシーラー塗り →着色 →クリヤラッカー塗り

［B群（多肢択一法）］

19　日本産業規格(JIS)によれば、エッチングプライマーに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　金属素地に対する塗装系の付着性を増加する目的で使用するものがある。
ロ　金属素地を清浄にした後、1～2日程度放置してから塗り付ける。
ハ　鋼板の素地面に一時的に防せい力を付与する目的で使用するものがある。
ニ　種類は、1種と2種がある。

20　鉄部の素地調整に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　黒皮(ミルスケール)及び赤さびを、電動工具を使用して除去した。
ロ　油類を、溶剤ぶきした。
ハ　汚れ・付着物を、スクレーパー、ワイヤーブラシ等を使用して除去した。
ニ　硫酸を使用して、化成皮膜処理をした。

21　日本産業規格(JIS)によれば、呼び名が下地調整塗材C－2である下地調整塗材の種類はどれか。

イ　セメント系下地調整塗材の2種
ロ　合成樹脂エマルション系下地調整塗材
ハ　セメント系下地調整厚塗材の1種
ニ　セメント系下地調整厚塗材の2種

22　合成樹脂調合ペイントのはけ塗りに関する記述として、適切なものはどれか。

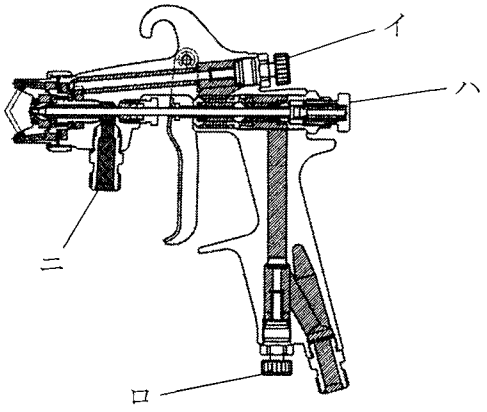
イ　棒状塗りで仕上げる。
ロ　仕上げ用のはけには、ダスタばけが適している。
ハ　配り、ならし及びはけ目通しによって仕上げる。
ニ　隅部の塗り付けは、塗装作業の最後に行う。

23　木部の合成樹脂調合ペイント仕上げにおける節止め材として、適切なものはどれか。

イ　水性シーラー
ロ　セラックニス
ハ　スパーワニス
ニ　クリヤラッカー

［B群（多肢択一法）］

24　次図は、エアスプレーガンの構造を示しているが、図中のイ～ニのうち、塗料噴出量調節装置はどれか。



25　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、引違い窓を表す平面表示記号はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ